

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	たんようカーパークつつじ（加古川市営駐車場）				
指定管理者	株式会社パーキングサポートセンター				
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで				
施設所管課	総務部 管財課				
施設の設置目的	自動車利用者の利便及び道路交通の円滑化を図ることにより、都市の機能の増進に寄与するため。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考（増減理由等）
	利用台数	273,106	252,734	255,086	昨年度と変わらず市民会館や市のイベントについては充実しており、総在庫台数は2,352台の増加。用務来庁者数2,145台増加、一般利用者数は207台の増加となった。
収支の状況	財源区分	指定管理料のみ			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考（増減理由等）
	収入金額（円）	25,985,584	23,511,998	26,036,470	
	（うち指定管理料）	25,985,584	23,218,998	25,634,470	
	（うち利用料金）				
	（うちその他）		293,000	402,000	光熱水費予算超過により追加。
支出金額（円）	25,985,584	23,511,998	26,036,470		

1 自己評価

自己評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築基準法12条に基づく建物部分の点検を実施し、点検報告書を作成しました。 ・ 駐車場場内の防犯対策として防犯カメラ設置済の掲示物を新たに15枚設置しました。 ・ 駐車場の省エネ対策として昨年から引き続きLED照明器具への切り替えを推進し、未利用フロアの照明は消灯するよう努めました。 ・ 駐車場のメンテナンス経験豊富な弊社社員による精算機点検作業や車室のライン引き作業および現地スタッフによる定期的なテナントチェッカーの修繕作業を実施し、機器類の保全に努めました。
----------	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	運営については概ね事業計画どおりなされており、良好といえる。
利用状況に対する評価	A	イベントを事前に把握して開場時間の変更を行うなど利用者の利便性の向上、安全性の確保に努めており、良好といえる。
自主(指定)事業に対する評価	—	実施する事業なし。
施設維持に対する評価	A	毎日場内外の清掃を行い、週末には精算機、発券機内の清掃を行うなど年間を通して適宜清掃や修繕を行うなど良好な維持管理ができていているといえる。
収支状況に対する評価	A	概ね指定管理料の範囲内で支出がまかなえており問題はない。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度総合評価	AA	従業員への研修や駐車場内の定期的点検を行い、良好な状態が保たれており、概ね良好な管理運営ができていているといえる。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	加古川市斎場				
指定管理者	株式会社五輪				
指定期間	令和6年4月1日から令和9年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 市民課				
施設の設置目的	市民福祉の向上に寄与するため、火葬の施設として斎場を設置した。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	人体受付件数	3,014件	2,983件	3,148件	死亡者数の増加
	小動物受付件数	1,532件	1,468件	1,517件	
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	97,174,321	93,264,306	98,439,200	
	(うち指定管理料)	90,505,000	90,884,000	97,568,000	人件費、委託費の増額の為
	(うち利用料金)	871,200	871,200	871,200	
	(うちその他)	5,798,121	1,509,106	0	エネルギー高騰対策費減額の為
支出金額(円)	94,061,620	96,434,850	97,588,720	委託料、燃料費高騰による支出増	

1 自己評価

自己評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画通りに運営を実施できておりますが、燃料料金、電気料金、その他の高騰が激しく収支計画通りにはいかなかった。 ・年度内は燃料の削減、電気使用量に努めた。
----------	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・細やかな配慮により利用者に寄り添った運営ができています。 ・葬祭業者及び霊柩車の運行事業者と連絡調整を行うことで、配車漏れを防止し、安定した火葬業務が実施できている。
利用状況に対する評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・火葬件数は前年度比約 5.5%増加であるが、効率的な運営ができています。 ・年末年始の受入件数拡大(35件)を実施した。 ・施設が老朽化している中で、安定的な火葬が提供できるように、火葬炉の保守点検や火葬の運営体制が効率的に実施できている。
自主(指定)事業に対する評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶、売店、自動販売機の委託を実施している。利用者のニーズを掌握し、軽食メニューの充実を図る等、利用者の満足につながるようお願いしたい。
施設維持に対する評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・修繕は優先順位をつけ、計画的に実施されている。 ・利用者のニーズを考慮しながら環境の整備を行っている。
収支状況に対する評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な火葬運営を実施し、経費削減に努めているが、超高齢社会を迎え、今後も火葬件数の増加が見込まれるため、より効率的な火葬業務の運営への研鑽をお願いしたい。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

項目	評価	評価内容
年度総合評価	AA	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化が進んでいる中で、施設の管理、設備のメンテナンス等十分実施されており、利用者に寄り添った、きめ細やかな対応等も評価している。 ・利用者からの声については、月に1回のアンケート報告とともに、必要なものについては、随時報告がされている。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	117 いいな スポーツアリーナ(加古川市立日岡山体育館)				
指定管理者	ミズノグループ				
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	加古川市民の健康の保持及び増進を図るとともに、スポーツの振興及び市民の交流に寄与することを目的とする。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	80,090	117,775	120,671	各種競技大会が多く開催
	競技場稼働率(%)	78	82	86	各種競技大会が多く開催
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	74,898,367	74,531,246	84,120,437	
	(うち指定管理料)	54,500,492	55,523,743	63,361,130	R6~指定管理料増額
	(うち利用料金)	12,049,950	16,723,430	18,183,575	競技場稼働率アップによる
	(うちその他)	8,347,925	2,284,073	2,575,732	知事選挙会場使用料
	支出金額(円)	79,675,377	80,662,598	81,063,137	

1 自己評価

自己評価コメント	施設全体の受付業務を一括集中することにより、全ての出来事に対して、臨機応変な対応で総合的な管理を行うことができた。また、安全にも配慮して運営できた。
----------	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行えている。利用者のニーズに応じて安全で快適な施設運営ができています。
利用状況に対する評価	S	利用者数、競技場稼働率とも前年度比で増加し、目標値も上回っている。 (利用者数 計画時：119,000人、実績：120,671人) (稼働率 計画時：83%、実績：86%) 今後も魅力的な事業展開や施設のPRにより、利用者の維持獲得、満足度の向上に努められたい。
自主(指定)事業に対する評価	A	事業によっては目標参加者数を上回っているが、指定事業及び自主事業ともに目標値を下回っているため、事業内容や周知方法を検討するとともに、今後も新規利用者獲得のため新たな事業の展開に期待する。
施設維持に対する評価	A	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕料・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	S	収入については、指定管理料による収入が大半を占めている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、事業の展開、また、必要な修繕・備品購入等、適切に執行できており、全体の収支として収入超過となった。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度総合評価	AA	前年度より利用者数、稼働率ともに増加した中、基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、市民スポーツの拠点として定着しており、市民スポーツの環境づくりに寄与している。トレーニングマシンの増設や、自主事業についても利用者のニーズを把握し、特色ある事業を展開することで多くの参加者を集めていることは評価できる。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	加古川市立武道館				
指定管理者	ミズノグループ				
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	加古川市民の健康の保持及び増進を図るとともに、スポーツの振興及び市民の交流に寄与することを目的とする。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	38,708	39,788	38,780	
	競技場稼働率(%)	55	52	49	
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	13,165,102	12,497,589	13,243,474	
	(うち指定管理料)	9,324,815	9,273,571	10,190,578	電気代補填分含む
	(うち利用料金)	2,971,240	2,776,890	2,651,310	
	(うちその他)	869,047	447,128	401,586	
	支出金額(円)	13,406,773	13,179,450	14,541,760	

1 自己評価

自己評価コメント	利用者への接客、清掃業務、メンテナンスなど総合的な運営管理を行うことができた。
----------	---

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。利用者のニーズに応じて安全で快適な施設運営ができています。例年要望が上がっている空調設備の設置について、昨年度に引き続きスポットクーラーの設置等、可能な範囲で対応を行った。
利用状況に対する評価	A	利用者数は、目標値は上回っているが、熱中症予防への意識が高まる中、空調設備が整っていないこともあり、夏季の稼働率が大幅に下がり、前年度の利用者数を下回っている。
自主(指定)事業に対する評価	A	参加者数が目標値を上回っている事業もあるが、集客に苦戦している事業もある。事業内容や周知方法を検討し、次回以降の展開に期待したい。
施設維持に対する評価	A	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕料・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	B	収入については、指定管理料による収入が多くを占めている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、事業の展開を行っている。購入品の選定により事務費を削減し、また、必要な修繕・備品購入等、適切に執行できているが、利用料金収入が目標値に到達せず、収入に対して支出超過になっており、今後の適切な運営に努められたい。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度総合評価	A	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。夏季にスポットクーラーを設置する等、利用者の意見も反映しながら運営していることは評価できる。指定事業及び自主事業については、目標値を達成するため、今後の展開に期待したい。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	日岡山公園野球場				
指定管理者	ミズノグループ				
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	加古川市民の健康の保持及び増進を図るとともに、スポーツの振興及び市民の交流に寄与することを目的とする。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	12,799	13,448	14,548	高校部活動利用増
	競技場稼働率(%)	43	41	42	
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	21,055,825	21,162,687	21,418,192	
	(うち指定管理料)	17,685,322	17,890,153	18,039,762	電気代補填含む
	(うち利用料金)	2,961,780	2,930,750	3,006,730	
	(うちその他)	408,723	341,784	371,700	
	支出金額(円)	20,715,496	21,141,470	22,084,372	

1 自己評価

自己評価コメント	利用者からはグラウンドの状態について満足している趣旨の言葉をいただき、取組成果は利用者に伝わっていると実感した。
----------	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行えている。専門的な知識と技術を活かし、施設管理を行っている。
利用状況に対する評価	S	利用者数、稼働率ともに目標値及び前年度実績を上回った。 (利用者数 計画時：13,200人、実績：14,548人) (稼働率 計画時：35%、実績：42.1%) 各競技協会の定期的な利用や、中高生の部活動利用も増加し、安定した利用を確保しており評価できる。今後も引き続き利用者の維持、獲得に努められたい。
自主(指定)事業に対する評価	A	参加者数が目標値を上回っている事業もあるが、集客に苦戦している事業もある。事業内容や周知方法を検討し、次回以降の展開に期待したい。
施設維持に対する評価	A	定期的な清掃・植栽に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	B	収入については、指定管理料による収入が大半を占めている。支出については、定期的な清掃・点検の実施、事業の展開、また、必要な修繕・備品購入等、適切に執行できているが、収入に対して支出超過となっており、今後の適切な運営に努められたい。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度総合評価	A	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、競技団体と連携をとり、高い稼働率を維持することができている。指定事業及び自主事業については、目標値を達成するため、今後の展開に期待したい。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	日岡山公園グラウンド				
指定管理者	ミズノグループ				
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	加古川市民の健康の保持及び増進を図るとともに、スポーツの振興及び市民の交流に寄与することを目的とする。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	58,988	58,770	56,282	
	競技場稼働率(%)	79	82	84	高校部活動利用増
収支の状況	財源区分	利用料金収入のみ			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	9,119,840	8,887,330	9,055,286	
	(うち指定管理料)	0	0	-436,734	精算金による。
	(うち特定修繕費)	0	0	726,000	更衣室内エアコン取替
	(うち利用料金)	8,402,840	8,294,430	8,299,620	
	(うちその他)	717,000	592,900	466,400	
支出金額(円)	8,224,014	8,272,677	9,581,485	特定修繕実施	

1 自己評価

自己評価コメント	グラウンド管理については満足をいただいている。近隣の高校の部活動利用が増え、稼働率が上がっている。
----------	---

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行えている。また、スポーツ関連企業の経験を活かしたサッカー学校は多くの参加者を集め、児童の競技能力向上に寄与している。
利用状況に対する評価	A	利用者数、稼働率ともに目標値を上回ったが、利用者数については前年度を下回っている。 (利用者数 計画時：55,000人、実績：58,770人) (稼働率 計画時：80%、実績：83.9%) 各競技協会の定期的な利用もあり、安定した利用を確保しており評価できる。今後も引き続き利用者の維持獲得、満足度の向上に努められたい。
自主(指定)事業に対する評価	A	参加者数が目標値を上回っている事業もあるが、集客に苦戦している事業もある。事業内容や周知方法を検討し、次回以降の展開に期待したい。
施設維持に対する評価	A	定期的な清掃・植栽に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	B	指定管理料はなく、利用料金収入が全体の9割強を占めているが、計画以上の額を確保できている。支出については、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、適切に執行できているが、収入に対して支出超過となっており、今後の適切な運営に努められたい。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度総合評価	A	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、競技団体と連携をとり、高い稼働率を維持することができている。指定事業及び自主事業については、目標値を達成するため今後の展開に期待したい。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	日岡山公園第1テニスコート				
指定管理者	ミズノグループ				
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	加古川市民の健康の保持及び増進を図るとともに、スポーツの振興及び市民の交流に寄与することを目的とする。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	18,757	18,601	18,053	
	競技場稼働率(%)	62	65	65	
収支の状況	財源区分	利用料金収入のみ			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	7,954,017	8,383,211	7,143,097	指定管理料なし。
	(うち指定管理料)	1,579,238	1,796,847	-252,163	精算金による。
	(うち特定修繕費)	0	0	660,000	人工芝部分貼替工事
	(うち利用料金)	5,748,490	6,144,540	6,313,640	
	(うちその他)	626,289	441,824	421,620	
	支出金額(円)	6,263,926	6,662,709	6,509,334	

1 自己評価

自己評価コメント	学校部活動利用と新たなテニス団体への利用訴求ができたため、稼働率が上がった。
----------	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。
利用状況に対する評価	A	利用者数、稼働率ともに目標値を上回ったが、利用者数については前年度を下回っている。 (利用者数 計画時：16,800人、実績：18,053人) (稼働率 計画時：55%、実績：64.8%) 今後も引き続き利用者の維持獲得、満足度の向上に努められたい。
自主(指定)事業に対する評価	A	参加者数が目標値を上回っている事業もあるが、集客に苦戦している事業もある。事業内容や周知方法を検討し、次回以降の展開に期待したい。
施設維持に対する評価	A	定期的な清掃・植栽に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	S	指定管理料はなく、利用料金収入が全体の9割強を占めているが、計画以上の収入を確保できている。支出については、定期的な清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、適切に執行できている。全体として収入超過となった。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度総合評価	AA	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。また、高い稼働率を維持することができている。指定事業及び自主事業については、目標値を達成するため、今後の展開に期待したい。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	日岡山公園第2テニスコート				
指定管理者	ミズノグループ				
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	加古川市民の健康の保持及び増進を図るとともに、スポーツの振興及び市民の交流に寄与することを目的とする。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	7,999	6,008	4,982	冬場のコート凍結が影響
	競技場稼働率(%)	32	24	24	
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	3,437,079	3,306,488	4,010,117	
	(うち指定管理料)	2,049,011	2,316,638	2,606,680	
	(うち特定修繕費)	0	0	342,100	ネット支柱埋込管やり替え基礎補修
	(うち利用料金)	1,213,200	935,300	923,050	
	(うちその他)	174,868	54,550	138,287	
	支出金額(円)	3,184,755	3,248,755	4,506,672	

1 自己評価

自己評価コメント	アンツーカーコートの整備において、例年以上に土を入れ、ニガリを撒きマンパワーを注ぎ、利用者からは整備努力の評価は頂けた。
----------	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。
利用状況に対する評価	B	冬季のコート凍結により利用できない期間が年々長くなり、令和6年度については1月・2月は閉鎖としたことにより、利用者数、稼働率ともに前年度を下回り、利用者数は目標値を下回った。土の投入やニガリの散布等、改善に向けた取組みは評価できる。抜本的な対策を講じるには時間を要するが、今後も引き続き利用者の維持獲得に努められたい。
自主(指定)事業に対する評価	A	参加者数が目標値を上回っている事業もあるが、集客に苦戦している事業もある。事業内容や周知方法を検討し、次回以降の展開に期待したい。
施設維持に対する評価	A	定期的な清掃・植栽に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	B	収入については、指定管理料による収入が多くを占めている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、自主事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、適切に執行できているが、利用料金収入が目標値に到達せず、収入に対して支出超過となっており、今後の適切な運営に努められたい。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度総合評価	A	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。指定事業及び自主事業については、目標値を達成するため、今後の展開に期待したい。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	日岡山市民プール				
指定管理者	ミズノグループ				
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	加古川市民の健康の保持及び増進を図るとともに、スポーツの振興及び市民の交流に寄与することを目的とする。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	21,654	25,751	26,236	SNS バナー広告効果
収支の状況	財源区分	利用料金収入のみ			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	9,954,163	11,325,048	24,802,705	
	(うち指定管理料)	0	0	-269,295	返還金による
	(うち特定修繕費)	0	0	13,123,000	プール機械室ろ過装置ヘアキャッチャー取替修繕外
	(うち利用料金)	8,982,500	10,523,040	10,934,650	
	(うちその他)	971,663	802,008	1,014,350	
支出金額(円)	12,005,934	12,034,453	24,959,376	特定修繕費含む	

1 自己評価

自己評価コメント	段差や滑りやすい箇所などにコーンやバーを置いて、事故を未然に防いだ。
----------	------------------------------------

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	日岡山公園内の7施設一括での指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行い、より多くの利用者が気軽に利用できる環境を整えている。
利用状況に対する評価	S	天候に恵まれたこともあり、利用者数が目標値を上回った。今後も引き続き利用者の維持獲得、満足度の向上に努められたい。
自主(指定)事業に対する評価	B	指定事業及び自主事業ともに目標値を下回っている。施設の特性に応じた魅力ある事業を実施し参加者の獲得に努められたい。
施設維持に対する評価	A	定期的な清掃・植栽に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	B	収入については、指定管理料による収入などが多くを占めている。支出については、定期的な清掃・点検の実施、必要な修繕・備品購入等、適切に執行できているが、利用料金収入が目標値に到達せず、収入に対して支出超過となっており、今後の適切な運営に努められたい。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

項目	評価	評価内容
年度総合評価	A	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。指定事業及び自主事業については、目標値を達成するため、今後の展開に期待したい。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	加古川スポーツ交流館				
指定管理者	SANスポーツマネジメント加古川				
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	市民の健康増進を図り、市民相互の交流を図る				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	108,506	107,119	105,190	次年度の改修工事休館の影響あり
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	121,655,693	114,727,739	141,166,318	
	(うち指定管理料)	60,225,120	60,220,000	81,474,629	指定管理の更新に伴う管理料の変更及び光熱水費の余剰金を返還したことによる差異
	(うち特定修繕費)	1,595,000	0	0	
	(うち利用料金)	40,730,415	40,919,838	42,826,147	新規利用者増
	(うちその他)	19,105,158	13,587,901	16,865,542	
	支出金額(円)	123,775,343	114,377,542	141,354,931	単価高騰影響

1 自己評価

自己評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・前指定管理期間に引き続き、市民の健康増進を図り市民相互の交流に寄与するための役割を積極的に果たしていると考えている。 ・設置者である市に代わり指定管理を行うという認識のもと、経験と実績のある職員の配置と職員研修により、公平で平等な利用の促進とお客様へ心の通ったホスピタリティが高い接客を行い、効率的な管理運営を実施した。 ・様々なプログラムの提供により市民の健康づくり・生きがいを支援した。企画・営業・広報活動を展開し安定した施設運営を実施。顧客満足度調査を通じて、サービスの品質確認を行い、ご要望を積極的に施設運営に反映することに努めた。 ・保守点検・施設修繕に万全を期し快適・安全・清潔な環境を提供し、施設の長寿命化を図った。 ・関係法令等を遵守するとともに、モニタリングを通して、提案した指定管理業務を適切に実施した。 ・地元雇用を中心として、市内関係団体・地元企業・各種団体との連
----------	--

	携協力など地域住民とのパートナーシップを強く持った施設運営を行い、地域の活性化に寄与した。
--	---

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	幅広い世代に向けた事業を実施する等、魅力的な施設となるよう努めており、引き続き期待したい。1年を通してスポーツ活動の拠点、コミュニティの場として多くの世代の方に利用されていることは評価できる。
利用状況に対する評価	A	近隣施設の状況の変化もあり、利用者数は前年度を下回った。引き続きSNS等で施設の魅力を発信し利用者の維持、新規利用者の獲得に努められたい。
自主(指定)事業に対する評価	A	指定事業・自主事業ともに、事業によっては目標参加者数を下回っているが、全体の目標値を上回っている。特に、ラウンドフィットネスが好評であり、多様なプログラムを取り入れ、老若男女問わず参加できるプログラムになっていると評価する。今後、さらに利用者の満足を得られる事業展開を期待する。
施設維持に対する評価	A	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに、必要分を適宜執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	B	利用料金収入が目標値には到達せず、収支全体は支出超過となっており今後の適切な運営に努められたい。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

項目	評価	評価内容
年度総合評価	A	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。利用者数・収支状況については目標を下回っており、今後バリエーションに富んだ事業を実施し、1年を通してコミュニティの場、スポーツ活動の拠点として幅広い世代の方に利用されるよう魅力的な施設になるよう努められたい。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名		浜の宮市民プール			
指定管理者		SANスポーツマネジメント加古川			
指定期間		令和6年4月1日から令和11年3月31日まで			
施設所管課		市民協働部 スポーツ・文化課			
施設の設置目的		加古川市民の健康づくり及びレクリエーションの振興に寄与する。			
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	60,466	69,074	62,856	8/9.10 臨時休園あり
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	46,062,939	51,043,617	53,552,535	
	(うち指定管理料)	7,561,786	6,917,669	7,667,104	
	(うち利用料金)	35,989,664	41,217,742	37,375,400	
	(うちその他)	2,511,489	2,908,206	8,510,031	
	支出金額(円)	37,763,047	43,734,144	50,811,859	

1 自己評価

自己評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・前指定管理期間に引き続き、市民の健康増進を図り市民相互の交流に寄与するための役割を積極的に果たしていると考えます。 ・設置者である市に代わり指定管理を行うという認識のもと、経験と実績のある職員の配置と職員研修により、公平で平等な利用の促進とお客様へ心の通ったホスピタリティが高い接客を行い、効率的な管理運営を実施した。 ・様々なプログラムの提供により市民の健康づくり・生きがいを支援した。企画・営業・広報活動を展開し安定した施設運営を実施。顧客満足度調査を通じて、サービスの品質確認を行い、ご要望を積極的に施設運営に反映することに努めた。 ・保守点検・施設修繕に万全を期し快適・安全・清潔な環境を提供し、施設の長寿命化を図った。 ・関係法令等を遵守するとともに、モニタリングを通して、提案した指定管理業務を適切に実施した。 ・地元雇用を中心として、市内関係団体・地元企業・各種団体との連携協力など地域住民とのパートナーシップを強く持った施設運営を行い、地域の活性化に寄与した。
----------	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	夏季のレジャー施設として、親子連れを中心に多くの方に利用されていると評価できる。今後も、より一層、健康づくり及びレクリエーション施設として魅力的な施設となるよう期待したい。
利用状況に対する評価	S	天候に恵まれたこともあり、利用者数は、目標値を上回った。今後も引き続き利用者の維持獲得、満足度の向上に努められたい。
自主(指定)事業に対する評価	B	指定事業及び自主事業ともに目標値を下回っている。自主事業については、前年度実績も下回っており、施設の特性に応じた魅力ある事業を実施し参加者の獲得に努められたい。
施設維持に対する評価	A	定期的な清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費、備品購入費共に必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	S	収入については、天候に恵まれたことも相まって、利用料金収入が目標値を大きく上回っている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、適切に執行できており、全体の収支として、収入超過となった。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

項目	評価	評価内容
年度総合評価	A	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。利用者も前年度を上回り、多くの方に安全・安心なプール施設の提供ができたと評価できる。指定事業、自主事業については、今後の展開に期待したい。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	加古川海洋文化センター				
指定管理者	スポーツと文化のまち かこがわ健幸パートナーズ				
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	海とふれあえる地で遊びや学習を通し、人と海とのかかわりにより生まれた海洋文化に関する知識の普及を図るとともに、地域の人々の交流を促進するため、複合文化施設を設置する。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	116,761	153,259	155,686	
	図書貸出冊数(冊)	144,721	178,354	166,152	全国的に図書館が滞在型利用へと変化している
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	92,641,834	93,948,969	98,047,780	指定管理料増
	(うち指定管理料)	82,809,535	82,812,250	86,980,442	余剰金85,558円を市に返還
	(うち利用料金)	180,740	162,260	186,242	
	(うちその他)	9,651,559	10,974,459	10,881,096	
	支出金額(円)	85,251,520	87,361,330	99,597,306	人件費、委託費増

1 自己評価

自己評価コメント	<p>令和6年度は、当グループが指定管理者として再び運営を担う初年度となり、短期間での引継ぎを経て安定した施設運営を行った。</p> <p>「わくわく科学教室」や「絵画教室」などの継続事業に加え、「親子でファンカヌー」や東播磨漁協に協力いただいた「海苔づくり体験教室」「海釣り教室」「親子稚魚放流体験会」などの新たな自主事業を展開し、来館促進を図った。</p> <p>じゃぶじゃぶ池は多くの親子連れでにぎわい、事故ゼロで運営した。館内では季節装飾やフォトスポットの設置を実施し、来館者の体験価値向上に努めた。</p> <p>図書室については、来室者数は前年と同程度を維持したが、貸出冊数は減少した。滞在型の利用や閲覧のみの利用が増加するなど、利用傾向の変化が見られた。</p>
----------	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	バリエーションに富んだ事業を実施する等、魅力的な施設となるよう努めており、1年を通して地域の人々の交流の場としてファミリー世代を中心に多くの方に利用されていることは評価できる。
利用状況に対する評価	A	利用者数は、目標値を下回っているが前年度を上回っている。今後も、引き続き魅力ある事業等を実施し、利用者の維持獲得、満足度の向上に努められたい。
自主(指定)事業に対する評価	A	指定事業及び自主事業どちらの事業も、事業によっては目標参加者数を下回っているが、全体としては、目標値を大きく上回っている。今後も、参加者のニーズの把握に努め、魅力ある事業展開に繋がるよう努められたい。
施設維持に対する評価	A	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに、必要分を適宜執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	B	収入については、指定管理料による収入が大半を占めている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内で、ほぼ計画どおりの執行ができており、利用料金収入が目標値に到達せず、収入に対して支出超過となっており、今後の適切な運営に努められたい。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度総合評価	A	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。海洋文化に関する知識の普及だけでなく、親子で楽しめる事業の実施やじゃぶじゃぶ池の運用等、特に子ども連れの利用者に親しまれている。また、本施設は図書室という特色もあり、地域の交流拠点としての役割も果たしていると評価できる。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	たんようウェルネスパーク（加古川ウェルネスパーク）				
指定管理者	スポーツと文化のまち かこがわ健幸パートナーズ				
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	市民及び勤労者の積極的な健康づくりを支援するとともに、総合的な生活環境の創造、向上を図り、もって健康で文化的な生活を実現する。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考（増減理由等）
	利用者数(人)	414,218	426,618	419,828	夏季、冬季の来場者減少
	図書貸出冊数(冊)	441,331	420,576	394,079	図書館来館者減少 滞在型利用への変化
	利用料金(円)	55,913,652	59,918,026	64,697,422	健康増進施設 利用者増加
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考（増減理由等）
	収入金額（円）	431,887,385	423,831,054	461,928,254	指定管理料の増加
	（うち指定管理料）	332,906,682	334,622,520	364,705,000	同上
	（うちエネルギー価格高騰対策費）	14,181,000	0	0	電気料単価上昇による措置
	（うち電気代補填）	0	2,000,000	4,104,000	
	（うち特定修繕委託料）	4,687,100	955,900	1,721,500	
	（うち特定備品購入料）	0	0	418,000	
	（うち利用料金）	55,913,652	59,918,026	64,697,422	健康増進施設の利用者増 同価格改定
	（うち指定事業収入）	14,800,750	16,478,035	19,007,350	健康増進事業への参加者増
	（うちその他）	9,398,201	9,856,573	7,274,982	レストラン売上他減少
	支出金額（円）	459,032,081	446,270,076	458,614,723	光熱水費増加他

1 自己評価

自己評価コメント	<p>令和6年度は、前年度よりも当施設の訴求度を高め、新たな利用者にもご来場いただくべく、新体制で各事業に取り組んだ。</p> <p>健康増進、図書館、その他の各事業で新規に9事業を立ち上げ精力的に実施することにより、来館者の増加を図ったが結果的にはあと一歩及ばなかった。(R5年度 426,618人⇒R6年度 419,828人 -6,790人 -1.6%)</p> <p>しかしながら施設利用者は増加し、令和7年度に繋がる事業展開ができた。(R5年度 190,552人⇒R6年度 193,338人 前年対比+2,786人 +1.5%)</p> <p>また、施設の賑わいを創出するため、構成企業協働で合同イベントを3事業開催し、特に身障者対象イベントは出演者、その保護者の皆さんに大変喜んで頂き、令和7年度も継続して開催することとした。以下に当該事業を記す。</p> <p>「Wellness Sports Day (体育大会)」(10月14日)</p> <p>「ウェルネス文化の日 (文化祭)」(11月16日)</p> <p>「cuddle 広場 (身障者対象イベント)」(12月15日、1月18日)</p>
----------	---

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	複合施設の特長を十分に活かした運営ができている。利用者の声を積極的に取り入れ、新たな事業を多数実施するなど、評価できる事業展開を行っている。
利用状況に対する評価	A	積極的な事業展開の結果、利用者数は前年度比で増加しているが、一部施設については目標値を下回っている。また、図書館については、貸し出し冊数が前年度より減少した。引き続き図書館事業等に力を入れ、来館者数等の増加に努められたい。
自主(指定)事業に対する評価	A	指定事業については、健康増進施設で様々な世代別、レベル別のクラスで事業を実施し、市民ニーズに応じていることは評価できる。自主事業においては、「Wellness Sports Day」等の新たな事業を実施し、好評を博していることは評価できる。多種多様な事業を展開し来館者の増加に寄与し、事業によっては目標参加者数を下回っているが、全体としては目標値を達成しており、今後も新たなニーズを掘り起こした新規事業について期待したい。
施設維持に対する評価	A	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	A	収入については、指定管理料による収入が大半を占めている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、適切に執行できているが、利用料金収入及び指定事業収入は計画目標値に達しなかった。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度 総合評価	AA	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について良好に遂行している。多種多様な事業に取り組み、複合施設の特徴を十分に発揮し、地域コミュニティの中心となっていると評価できる。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	加古川市立漕艇センター				
指定管理者	ウォーター・ライフ連合体				
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	川に恵まれた本市の特性を生かし、漕艇活動の振興を図り、市民の健康づくりに寄与するため、漕艇施設を設置する。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考（増減理由等）
	利用者数（人）	20,669	24,963	29,061	
	利用料金（円）	2,409,820	3,092,140	3,363,060	
収支の状況	財源区分	指定管理料＋利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考（増減理由等）
	収入金額（円）	40,396,971	42,484,783	58,044,992	指定管理の更新に伴う管理料の変更及び光熱水費の余剰金を返還したことによる差異
	（うち指定管理料）	36,390,683	36,471,194	53,942,419	
	（うち利用料金）	2,409,820	3,092,140	3,363,060	
	（うちその他）	1,596,468	2,921,449	739,513	
	支出金額（円）	48,338,544	52,016,256	64,640,891	

1 自己評価

自己評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者の創意工夫によりサービスの向上に至った取組内容とその結果 カヌーに専門性をもつスタッフの強みを生かし、各種イベントの企画・運営を実施し、漕艇センターの認知度向上に努めた。特に自主事業のカヌー教室では、定期的な施設利用者の確保につながり、生徒数も徐々に増加している。既存のボート大会に、カヌー部門を取り入れることでスポーツの共存・発展を目指している。 ・ 経費削減に係る取組内容とその結果 電気やボイラーのこまめな消灯、グリーンカーテンの手入れなどを通じて環境に配慮した。また、定期的な施設巡回点検を実施し、不具合の早期発見と対応に努めている。ごみの分別についても、周知リーフレットの再作成や館内掲示の見直しを行った。 ・ 独自のノウハウを活用するなど業務履行に工夫した点 スタッフの水上経験を生かし、大会やイベントにおいて安全を確保したうえで実施判断を行っている。秋季選手権では荒天により中止の判断が検討される中、代替としてエルゴ大会への切り替えを提案した。また、団体研修では悪天候時にも対応できるよう、室内講習の実施体制を整えている。
----------	---

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	安全な施設管理や、不具合への素早い対応ができています。また、利用者の安全を最優先に考え、艇利用時の安全強化に重点的に取り組むなど、安全監視体制の徹底や艇保守業務の確実な実施等を行っていることは評価できる。
利用状況に対する評価	A	利用者数は前年度比で増加し目標値も上回っているが、稼働率は前年度を下回っている。天候等の外部要因により利用者数が大きく変化する施設であるが、魅力ある事業の展開や施設のPRにより、引き続き利用者数の確保を期待したい。
自主(指定)事業に対する評価	A	指定事業は、参加者数が目標値を大きく下回ったが、自主事業については、目標値を大きく上回っており、今後の魅力ある事業展開を期待したい。
施設維持に対する評価	A	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕費・備品購入費ともに予算の範囲内で必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	B	収入については指定管理料の収入が大半を占めている。定期的な館内清掃・点検の実施、事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、適切に執行できているが、利用料金収入が目標値に到達せず、収入に対して支出超過となっており、今後の適切な運営に努められたい。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている

B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

項目	評価	評価内容
年度 総合評価	A	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、概ね良好に遂行することができた。体験教室等の実施や、各種ボート大会への積極的な協力などを通じ、ボート競技の普及に寄与している。また、施設の設備、備品の改善に取り組み、利用者の利便性、安全性を向上することに力を入れていることは評価できる。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	加古川市立志方体育館				
指定管理者	特定非営利活動法人加古川総合スポーツクラブ				
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	市民の健康増進及びスポーツの振興に寄与するため設置する。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	28,561	25,988	26,477	前年度は、まだ多少新型コロナウイルスの影響が残っており利用者数が少なかったが、当年度は回復傾向にある。
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	10,212,130	9,973,926	10,823,134	
	(うち指定管理料)	5,555,479	5,729,588	6,830,702	指定管理料見直し
	(うち利用料金)	3,739,790	3,476,230	3,655,720	
	(うちその他)	916,861	768,108	336,712	
	支出金額(円)	9,385,122	10,078,452	10,481,921	

1 自己評価

自己評価コメント	前年度は、多少新型コロナウイルスの影響が残っており利用者数が少なかったが、当年度は回復傾向にあり引き続き利用者増を図りたい。
----------	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	志方東公園テニスコートと一括で指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行えている。また、アンケート等に基づき、利用者のニーズに応えた運営を心がけており、令和6年度は例年要望が上がっていたエアコン設置について、スポットクーラーの設置等、可能な範囲で対応を行った。指定管理者の特性を活かして、スポーツの普及に寄与している。

利用状況に対する評価	A	利用者数は前年度を上回っているが、目標値を下回っている。今後も利用者のニーズを把握して事業展開を行い、利用者数、利用率等を増加させる工夫をし、施設の有効活用に努められることを期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	A	自主事業であるシェイプアップ教室は、年間を通して参加者数が安定しており、利用者から高評価を得ている。また、地域感謝運動会は、地域との交流を深め施設の存在をPRできる良い機会となっている。事業によっては目標参加者数を下回っているため、事業内容や周知方法を検討するとともに、今後も新規利用者獲得のため新たな事業の展開に期待する。
施設維持に対する評価	A	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕料・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	S	収入については、指定管理料による収入が多くを占めている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、指定事業の展開、また、必要な修繕・備品購入等、適切に執行できており、全体として収入超過となった。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度総合評価	AA	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができている。地元に着した施設運営ができおり、市北部のスポーツの場として親しまれている。積極的に自主事業に取り組み、シェイプアップ教室、卓球教室など独自の事業を行い、好評を得ている。今後もより一層、利用者ニーズに沿った事業を期待する。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	志方東公園テニスコート				
指定管理者	特定非営利活動法人加古川総合スポーツクラブ				
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資する。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	8,756	8,327	8,568	前年度は、まだ多少新型コロナウイルスの影響が残っており利用者数が少なかったが、当年度は回復傾向にある。
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	7,212,298	6,853,261	8,441,636	
	(うち指定管理料)	4,062,632	3,775,957	4,589,064	指定管理料見直し
	(うち特定修繕費)	0	0	753,500	照明器具取替修繕
	(うち利用料金)	2,944,090	2,905,540	2,929,220	
	(うちその他)	205,576	171,764	169,852	
	支出金額(円)	6,421,358	6,413,079	7,465,032	

1 自己評価

自己評価コメント	屋外施設ではあるが、新型コロナウイルスの影響が残っていて利用者数が少なかった前年度から当年度は回復傾向にあり、引き続き利用者増を図りたい。
----------	---

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	志方体育館との一括で指定管理を受けており、施設をまたいだスタッフの配置など、繁忙・閑散期など状況に応じた効率的な運営を行っている。また、親しみやすい施設として多くのリピーターに親しまれている。指定管理者の特性を活かして、スポーツの普及に寄与している。

利用状況に対する評価	S	利用者数・稼働率ともに前年度を上回っており、リピーターをしっかりと確保するとともに新規利用者の開拓にも取り組んだ結果、目標値を上回った。 (利用者数 計画時：7,000人、実績：8,568人) (稼働率 計画時：35%、実績：47.1%) 今後も利用者のニーズを把握して事業展開を行い、利用者数、利用率等を増加させる工夫をし、施設の有効活用に努められることを期待したい。
自主（指定）事業に対する評価	A	指定事業である世代間テニス大会については目標参加者数を下回っているが、自主事業であるテニス教室が好評であり、参加者数が目標を達成している。利用者から高評価を得ている事業であるので、今後も当事業を継続し満足度の向上を図られるとともに、指定事業の事業内容や周知方法を検討されたい。
施設維持に対する評価	A	定期的な清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕料・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	S	収入については、指定管理料による収入が多くを占めている。支出については、定期的な清掃・点検の実施、指定事業の展開、また、必要な修繕・備品購入等、適切に執行できており、全体として収入超過となった。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度総合評価	AA	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。自主事業のテニス教室は、利用者に親しみやすい事業に取り組み、参加者に満足いただいている点が評価できる。今後は、施設の認知度向上のための事業を展開し、更に多くの人に利用される施設となることを期待する。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	SHOWA グループ総合体育館（加古川市立総合体育館） SHOWA グループ陸上競技場（加古川運動公園陸上競技場）				
指定管理者	株式会社加古川運動公園市民スポーツサービス				
指定期間	平成17年12月2日から令和7年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	市民の健康の保持及び増進とスポーツの振興及び市民の交流のため。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考（増減理由等）
	総合体育館 施設利用者 （人）	104,934	120,497	115,193	12/23～1/31 大規模修繕 工事により休館とした
	陸上競技場 施設利用者 （人）	85,534	112,362	94,670	専用での大会開催数の減 少による
収支の 状況	財源区分	割賦料+管理・運營業務料			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考（増減理由等）
	収入金額（円）	225,493,643	217,872,244	229,610,442	-
	（うち指定管理料）	220,701,513	214,814,261	226,482,362	-
	（うち利用料金）				-
	（うちその他）	4,792,130	3,057,983	3,128,080	-
	支出金額（円）	220,496,602	212,905,618	227,544,074	-

1 自己評価

自己評価コメント	<p>大きな事件・事故等なく20年間のPFI事業としての運営管理を終えることが出来た。</p> <p>「みる、する、ささえる」スポーツを基本に体育館・陸上競技場の管理を行ってきた。この三本柱は「レベルの高いスポーツを見るまたはスポーツをする」ことにより、加古川市民のスポーツに対する意識が高くなったと感じている。</p> <p>市主催及び活性化事業もその時代のニーズにあった事業を展開し、皆様の期待に応じてきた。また、プロスポーツの誘致及び市内中・高の各大会に当たり、多くの利用者・来館者にお越しいただけた。</p>
----------	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	PFI 事業の基本方針である「するスポーツ、みるスポーツ、ささえるスポーツ」の拠点となっており、様々なスポーツで重要な施設として広報することができている。また、アンケートの実施や有識者等による活性化委員会の開催、兵庫県看護協会の協力によるまちの保健室の開催等により、サービスの向上に努めている。
利用状況に対する評価	A	利用者数について、総合体育館は大規模修繕工事により1カ月間閉館していたため昨年より利用者数は減少したもののそれ以外の期間は昨年を上回っていた。陸上競技場は大会開催が減少したことで利用者は昨を下回っている。
自主(指定)事業に対する評価	A	PFI 事業については、市主催スポーツ教室、自主活性化事業等の各教室を実施し、市民スポーツへの関心を高め施設の活性化に寄与した。
施設維持に対する評価	A	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	S	収入については市からの委託料が大半を占めている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い適切に執行できており、全体の収支として、収入超過となった。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

項目	評価	評価内容
年度総合評価	AA	PFI 事業要求水準書(一次、二次)に基づく提案書、事業計画書に基づいて、管理運営を確実に実施している。総合体育館においては、活性化事業として様々な教室を実施し、市民の健康づくりに大きく寄与している。また、無料開放している市民クラブルームをはじめ、近隣住民を中心にコミュニティ施設として定着している。陸上競技場においては陸上競技教室を実施し、若年層の競技能力向上に寄与している。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	SHOWA グループ市民会館（加古川市民会館）				
指定管理者	株式会社ケイミックスパブリックビジネス				
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	市民の福祉の増進を図り、文化の向上に寄与する。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考（増減理由等）
	利用者数（人）	101,487	162,360	178,026	
	施設稼働率	42%	45%	45%	
収支の状況	財源区分	指定管理料＋利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考（増減理由等）
	収入金額（円）	150,676,866	149,481,264	158,192,045	
	（うち指定管理料）	93,974,129	96,503,411	108,222,327	指定管理の更新に伴う管理料の変更及び光熱水費の余剰金を返金したことによる差異
	（うち特定修繕費）	1,064,800	0	0	
	（うち利用料金）	24,611,783	30,633,405	26,052,887	有料貸館の利用減少に伴うもの
	（うちその他）	31,026,154	22,344,448	23,916,831	
	支出金額（円）	149,152,907	149,934,348	151,352,409	

1 自己評価

自己評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 施設の利用許可申請書に「個人情報取扱案内」のQRコードを掲載し、利用者の同意を得ることにした。その結果、利用者は窓口で説明を受けるまでに、スマートフォンで情報を確認することができるようになった。また、再確認もスマートフォンで容易になった。 電気及びガス料金高騰の中、ドアの開放放置によるエネルギーロスを防止するため、施設内の巡回頻度を上げ光熱費の節減に努めた。結果として、電気使用量は前年度比10.4%の減、ガス使用量は10.6%の減となった。 花壇管理において、市民ボランティア3名の協力を得て、1年を通して美しい花を提供できた。市民ボランティアは、市民会館が市民に愛され親しまれる施設であることを心から願って協力いただいた。
----------	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	施設の運営や維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に基づき実施された。アンケートや提案箱の設置等により、利用者のニーズを受け業務改善、サービスの向上に努めている。
利用状況に対する評価	A	利用人数、稼働率とも前年度を上回っている。しかしながら、利用人数及び稼働率ともに目標値には届いていないため、今後も魅力的な事業展開や施設のPRを図り、利用者の維持獲得、稼働率の向上に努められたい。
自主(指定)事業に対する評価	S	指定事業、自主事業ともに、著名なアーティストのコンサート等を実施し、老若男女問わず市民が楽しむ機会を提供した。また、世界三大ピアノであるスタインウェイを活用した事業も実施されており、充実した事業を展開していると評価できる。事業によっては目標参加者数を下回っているが、全体としては目標値を達成しており、今後も新たなニーズを掘り起こした新規事業について期待したい。
施設維持に対する評価	A	定期的な館内清掃、植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕料・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	S	利用料金収入が目標額に到達していないが、他方、支出を抑制し、全体として収入超過となった。また、日々の節電等の結果、光熱水費が削減されている点については評価できる。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度総合評価	AA	基本協定書、事業計画書に基づき管理運営等について、良好に遂行することができた。今年度については、著名なアーティストのコンサート等の事業を行い、好評であったことは評価できる。今後は、利用者数、利用料金収入について目標値を達成できるよう次年度も利用者ニーズを掘り起こしたさらなる事業展開に期待したい。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	加古川総合文化センター				
指定管理者	かがわ文化と学びのひろば				
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	学術文化の振興及びコミュニティ活動の推進を図り、魅力ある豊かな地域社会の形成に寄与するため、複合施設を設置する。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	134,563	184,481	194,197	
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	172,954,800	180,779,691	138,274,156	
	(うち指定管理料)	101,247,732	101,969,000	102,008,000	
	(うち特定修繕費)	1,727,000	1,802,900	2,514,149	高圧引込開閉器更新 外
	(うち利用料金)	24,565,580	26,339,910	26,415,380	
	(うちその他)	45,414,488	50,667,881	7,336,627	
	支出金額(円)	160,746,652	172,499,467	131,683,990	

1 自己評価

自己評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 利用者目線での接客・対応を基本とし、アンケート等の利用者からの意見・提案に真摯かつ迅速に対応した。女子トイレの洋式化など、特に多くの要望が寄せられた意見については、可能な限り対応した。 また、施設利用申請についても、従来複数枚の申請書の提出を求めている案件も、集約できる内容は集約することでの単枚での申請も可とすることで、利用者の利便性の向上を図った。 予約システムを施設独自で導入し予約状況の見える化を図ることで、利用者の利便性の向上を図った。 近隣の文化施設との連携を目的としたイベントに積極的に参加し、加古川総合文化センターのPRに努め、施設認知度の向上を図った。 加古川総合文化センターのオリジナルグッズとして缶バッジを取り入れ、センターのイベントはもとより近隣文化施設のイベントで、参加者のオリジナル缶バッジ作成など行い、施設満足度及び施設認知度の向上を図った。
----------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウム館は、「ドラえもん」のプログラムを導入することで観覧者の増加を図り、また年間を通じて家族で楽しめる場として市民に浸透することができた。 ・ロビーで長年使用し汚損が激しかったロビーチェアを一新し、館内イメージ明るくした。 ・スタッフの担当業務のマルチタスクを進めることで、業務の効率化を図り、時間外勤務の削減を図った。
--	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	施設の運営や維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に基づき実施された。アンケートや提案箱の設置等により、利用者のニーズを受け業務改善、サービスの向上に努めている。
利用状況に対する評価	A	美術展示室の利用数が増加したことにより、利用者数が目標値を大幅に上回った。 (利用者数 計画時：141,500人、実績：194,197人) 一方、稼働率は目標値を下回っている。今後も魅力的な事業展開や施設のPRにより、利用者の維持獲得、満足度の向上に努められたい。
自主(指定)事業に対する評価	A	指定事業である「総文ビッグフェスタ!!」は例年実施している事業であり、目標値を大幅に上回る参加があり、利用者からも高評価を得ている。事業によっては目標参加者数を下回っているため、事業内容や周知方法を検討するとともに、今後も新規利用者獲得のため新たな事業の展開に期待する。
施設維持に対する評価	A	定期的な館内清掃・植栽、警備に係る各種定期点検及び維持管理がなされている。また、修繕料・備品購入費ともに必要分を執行しており、適切な維持管理がなされている。
収支状況に対する評価	S	収入については、指定管理料による収入が多くを占めている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、事業の展開、また、必要な修繕・備品購入等、適切に執行できており、全体として収入超過となった。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度総合評価	AA	特色ある事業を行い、利用者から好評であったことは評価できる。今後も利用者ニーズを把握しそれに対応したさらなる事業展開に期待したい。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	加古川市立松風ギャラリー				
指定管理者	加古川市美術協会				
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで				
施設所管課	市民協働部 スポーツ・文化課				
施設の設置目的	芸術文化の振興を図り、魅力ある豊かな地域社会の形成に寄与する。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	17,064	14,723	18,217	
	稼働率(%)	50	51	48	
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	21,546,375	21,021,154	22,460,940	
	(うち指定管理料)	19,154,262	18,725,630	19,248,383	
	(うち利用料金)	2,191,250	2,153,035	2,271,560	
	(うちその他)	200,863	142,489	940,997	事業委託収入
	支出金額(円)	20,967,733	20,432,436	22,730,480	図録2種作成

1 自己評価

自己評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率の目標達成にむけ職員のノウハウにより所蔵美術展やコンサートを展開してきた。 ・光熱水費を抑制すべく例えば LED 電球を増設して経費削減に努め市に残額を返還することができた。 ・美術協会のネットワークを活用して地域密着の視点で事業ができるよう心がけた。 ・事業実施計画に記載の事業を実施するとともに、展覧会において2種類の図録を刊行することができた。 ・予想以上に最低賃金の引き上げがあり、このまま推移すれば今後4年間の予算額が苦しくなりそうだ。
----------	---

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	地域の文化団体とのネットワークをもった指定管理者が地域に密着したサービスを提供できている。特に市内にゆかりのある作家の美術展や音楽団体のコンサートを行うことにより、地元加古川の芸術文化の振興に寄与している。

利用状況 に対する 評価	A	1階展示室の貸館状況に応じて、可能な限り事業を組み入れることにより稼働率は目標値を上回った。利用者数については前年度を上回っているが、目標値には届いていない。今後も魅力的な事業展開や施設のPRにより、利用者の維持・獲得、満足度の向上に努められたい。
自主（指 定）事業に 対する評 価	A	自主事業として、指定管理者主催事業である美術協会部門別会員展を開催しており、指定管理者のノウハウとネットワークを生かした事業展開ができています。また、指定事業においては、多様な企画展を開催しており、チラシ等で利用者へ積極的に周知を行うなど、利用者数増加に向けて努力した点は評価できる。 事業によっては目標参加者数を下回っているが、全体としては目標値を達成しており、引き続き魅力ある事業展開を期待したい。 (指定事業 計画時：3,118人、実績：3,966人) (自主事業 計画時：880人、実績：1,424人)
施設維持 に対する 評価	A	定期的な館内清掃・点検を実施。また、早期に必要な修繕を行うことにより、老朽化を最小限におさえる等、適切な維持管理ができています。
収支状況 に対する 評価	B	収入については、指定管理料による収入が多くを占めている。支出については、定期的な館内清掃・点検の実施、事業の展開、また、必要な修繕・備品購入を行い、予算の範囲内での執行ができていますが、利用料金収入が目標値に到達せず、収入に対して支出超過となっており、今後の適切な運営に努められたい。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度 総合評価	A	施設の管理運営や施設維持管理については、提案書、仕様書、事業計画書に基づき適正に遂行、節電等経費削減にも取り組んでいる。また、新規事業の実施、継続的なPRを行い、事業周知を図っている。市所蔵作品展を行うことにより、地元有缘のある芸術家の作品を広く市民に知ってもらい、市所蔵の芸術作品を有効活用することができ、施設を有効に利用できている。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	加古川市立地域産業振興センター				
指定管理者	地域産業振興センター運営協議会				
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで				
施設所管課	産業経済部 産業振興課				
施設の設置目的	地域産業の振興と地域住民の生活文化の向上を図るため、集会施設を設置する。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	9,550	8,561	8,575	
	利用者数(件)	704	665	688	
収支の状況	財源区分	指定管理料のみ			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	6,692,485	6,640,901	6,939,042	
	(うち指定管理料)	6,692,465	6,640,879	6,937,785	
	(うち利用料金)	-	-	-	
	(うちその他)	20	22	1,257	預金利息
支出金額(円)	6,693,360	6,641,005	6,939,114	光熱水費が高騰したため	

1 自己評価

自己評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対してアンケートを実施し、快適に施設を利用してもらえるように対処した。 ・設備点検や簡易な修繕を行い、また声掛けや案内等で施設を快適かつ安全に利用してもらえるよう対策に努めた。 ・こまめな消灯の確認や、常時使用しないものなどのコンセントを抜くなどの待機電力の削減に取り組んだ。 ・地場産業である靴下製品を入口展示ケースに展示し、来館者にPRした。また、靴下製造事業者の工場を案内するなど認知度向上に努めた。
----------	---

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	施設の管理運営業務においては、事業計画通り実施されている。利用者アンケートによる施設利用の満足度は92.5%で、中でも窓口の対応に関する満足度は92.5%、清掃・美観は94.6%と高く、利用者等の意見を把握し、管理運営に反映されていると評価できる。
利用状況に対する評価	B	利用者数は横ばいであるが、HPからの予約受付や、自主事業などの情報発信を行い、開かれた地域の拠点となるよう利用促進に努めている。
自主(指定)事業に対する評価	A	地場産業PR事業においては、近隣の事業者と連携し加古川靴下及び国包建具の商品ディスプレイを行い、購入希望等の問い合わせに対しては販売事業者へ取り次ぐなど、地場製品の販売促進にも取り組んでいる。 みどり喫茶事業の運営においては、地域住民のコミュニティ形成及び、当該センターの利用促進を図っている。
施設維持に対する評価	A	施設の維持管理について、業務委託により適切に行われているほか、事務員による清掃が行き届いている。 利用者からの修繕の要望については、順次計画的に対応している。
収支状況に対する評価	A	不要な支出は認められず、適正に経理処理されている。 コピー用紙の裏面利用や、古封筒の再利用など事務用品の経費削減を徹底しており、光熱水費の返還も行われた。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度総合評価	A	施設の管理運営については、基本協定書、仕様書、年度協定書及び事業計画書に基づき適正に実施されている。また、自主事業により地域産業の振興と、地域住民のコミュニティ形成に努めており、施設の目的に沿った利用促進を行っている。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	加古川市立しろやま農業研修センター				
指定管理者	しろやま農業研修センター管理運営協議会				
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで				
施設所管課	産業経済部 農林水産課				
施設の設置目的	コミュニティの場として、農業者を含め、地域住民の生活改善、健康増進を図ることを目的としている。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用件数(件)	1,065	888	987	改修工事が完了し、以前の利用者が戻り始めたため、増加した。
	利用者数(人)	13,877	11,696	14,872	同上
収支の状況	財源区分	指定管理料のみ			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	6,946,019	6,531,946	6,917,164	
	(うち指定管理料)	6,946,000	6,531,927	6,915,988	
	(うち利用料金)	0	0	0	
	(うちその他)	19	19	1,176	利息
支出金額(円)	6,560,966	6,483,944	6,673,992		

1 自己評価

自己評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート要望を取入れた結果、施設の環境改善により利用者サービスの向上に繋がった。 ・改修工事に伴い省エネ器具が導入されたことにより、経費節減効果について成果が上がった。
----------	---

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	地域に密着した活動をとおして、適正な運営管理が実施されている。また、利用者アンケートにて、事務員の対応については利用者の92.2%が「良かった」と評価しており、利用者満足度は高いものと評価できる。
利用状況に対する評価	A	令和5年度においては、中規模修繕に伴う全館休館の影響もあり、利用件数・利用者数全体での減はあったものの、令和6年度は休館以前の令和4年度と比較して利用件数・利用者数ともに増加しており、稼働率向上に向けた取り組みが適切にされているものとして評価できる。
自主(指定)事業に対する評価	A	親子陶芸教室を開催し、地域住民の交流の場として施設の活用を図っている点についても評価できる。
施設維持に対する評価	A	利用者アンケート結果において、「清潔で綺麗に管理されている」とのコメントが複数あり、管理者の修理、管理が行き届いていることがわかる。また、利用者からの施設の設備等に対する要望についても、都度対応を行い、適切に維持管理に努めている点について評価できる。
収支状況に対する評価	A	収支状況は黒字であり、適正な経理処理がされているものと評価する。また精算項目である光熱水費については余剰金として市に返還するなど、経費削減に向けた取り組みが適切にされている点も評価できる。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

項目	評価	評価内容
年度総合評価	AA	適正に運営・管理されている。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	加古川市立農村環境改善センター				
指定管理者	農村環境改善センター運営協議会				
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで				
施設所管課	産業経済部 農林水産課				
施設の設置目的	農村地域における環境条件の整備及び農業経営の合理化を図り、農業者及び地域住民の生活改善及び健康増進に寄与する。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考（増減理由等）
	利用者数（人）	26,620	24,126	25,664	衆議院議員選挙・兵庫県知事選有
	利用者数（件）	1,827	1,771	1,833	新規団体利用増
収支の状況	財源区分	指定管理料のみ			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考（増減理由等）
	収入金額（円）	6,881,957	6,910,686	7,455,112	
	（うち指定管理料）	6,768,242	6,803,269	7,361,917	
	（うち利用料金）	0	0	0	
	（うちその他）	113,715	107,417	93,195	
	支出金額（円）	6,874,578	6,897,284	7,449,539	

1 自己評価

自己評価コメント	指定管理経費内で運営、管理を適切に行っている。
----------	-------------------------

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	地域に密着した活動をとおして、適正な運営管理が実施されている。また、利用者アンケートにて、事務員の対応については利用者の76%が「良かった」と評価しており、利用者満足度は高いものと評価できる。
利用状況に対する評価	A	新規団体の利用増加により、利用件数・利用者数に増がみられ、稼働率向上に向けた取り組みが適切にされているものとして評価できる。
自主(指定)事業に対する評価	A	ハロウィンや運営協議会協賛の八幡町内会連合会主催の世代間交流学習会など、老若男女問わず地域の方との交流ができる場として施設の活用を図っている。また、前年度と比べて参加者人数の増加がみられ、積極的な取り組みがなされているものとして評価できる。
施設維持に対する評価	A	簡単な修理等の作業は管理者が対応し、委託による施設の維持管理、日常点検、修繕を行い、施設維持に努めている。また、利用者アンケート結果において、「備品の不具合を申し出たら迅速に対応してもらえた」とのコメントより、施設等の要望に対しても、都度迅速な対応を行っている点も評価できる。
収支状況に対する評価	A	収支状況は黒字であり、適正な経理処理がなされているものと評価する。また、精算項目である光熱水費については余剰金として市に返還するなど、経費削減に向けた取り組みが適切にされている点も評価できる。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

項目	評価	評価内容
年度総合評価	AA	適正に運営・管理されている。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	加古川市見土呂フルーツパーク				
指定管理者	株式会社ローカルデベロップメントラボ				
指定期間	令和4年10月1日から令和19年3月31日まで				
施設所管課	産業経済部 農林水産課				
施設の設置目的	農業と豊かな自然に親しむ機会を市民に提供し、都市と農村の交流を図り、農業の振興と地域の活性化に寄与する。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	27,283	47,666	179,481	前年度についてはグラスハウスオープン後の10月から翌3月までの利用者数のみカウントしていたため。
	利用件数(件)	-	-	1,042	当年度より新たに宿泊事業(グランピング・キャンプ)を始めたことによる。
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	25,212,142	111,907,205	149,968,525	利用料金及びその他収入(レストラン事業等)の増
	(うち指定管理料)	25,000,000	88,814,271	85,000,000	
	(うち利用料金)	211,500	0	8,448,333	当年度より新たに宿泊事業開始したことによる増
	(うちその他)	642	23,092,934	56,520,192	前年度についてはグラスハウスオープン後の10月以降に事業開始したため。
	支出金額(円)	25,041,774	118,165,328	146,616,565	

1 自己評価

自己評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・農業公園ならではの取組みを多数行えた。具体的には、キッズファーマーズクラブの活動にて子供たちに土をつくるところから農作物販売までを一貫して行う取組みや、レストラン事業での地産地消に向けた取組み、また宿泊事業においても収穫体験を売りとして集客に努め、高い評価を得ることが出来ている。 ・昨年同様に地域内で活躍する様々な組織や団体と連携を図るなど、みとろの丘だけでなく、エリア全体の活性化や賑わいの創出に繋がる取組を積極的に進めることができた。特に両荘みらい学園の全学年と連携した活動については、教育の面でも大きく地域に貢献できたものとして評価している。 ・課題はあるものの、リニューアル後の初年度として、利用者に満足いただけるサービスの提供及び地域貢献に努めることができたと思う。
----------	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	利用者からの苦情もなく、利用者アンケートにて満足度についても利用者の82.2%が「とても良かった」「良かった」と評価しており、適正な運営管理がされているものとして評価する。また、利用者からの要望に関しても、積極的な対応に努めている点も評価できる。
利用状況に対する評価	A	前年度の利用者数のカウントが、ガラスハウスオープン後の10月以降のみであったことを鑑みても、年間を通しての利用者数は大幅な増となっており、SNS等を活用した積極的なPRや新たなイベントの企画・開催に精力的に取り組んだ点は非常に評価できる。各事業別では、宿泊事業については当初の目標値を下回っているため、利用者数の増に向けた今後の取り組みに期待する。
自主(指定)事業に対する評価	A	「GOOD MEETS MARKET」や「キッズファーマーズクラブ」といった定例的なイベントに加え、「みとろ縁日」といった季節ごとのイベントを実施するなど、積極的な取組みがなされているものとして評価する。 また、自主事業について、両荘みらい学園と連携を図りながら、施設の自然を活かした体験学習を、年間を通して実施するなどし、地域の活性化に貢献した点も評価できる。
施設維持に対する評価	A	清掃業務、設備点検等を定期的実施し、施設維持に努めている。
収支状況に対する評価	A	人件費や光熱水費については当初の想定に比べ増となったが、他の支出項目での経費削減に取り組んだ結果、収支全体では黒字であり、経理状況については適正に処理されているものとして評価する。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている

B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

項目	評価	評価内容
年度 総合評価	AA	事業計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているものとして評価する。 また、施設の管理運営に関しても適正に実施されているものとして評価する。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	加古川市社会福祉協議会				
指定管理者	社会福祉法人加古川市社会福祉協議会				
指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで				
施設所管課	福祉部 地域福祉課				
施設の設置目的	市民の福祉の向上と健康の増進を図るため。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	50,604	61,256	58,771	
	利用件数(件)	2,954	3,139	3,129	
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	39,138,479	38,296,150	39,224,430	
	(うち指定管理料)	35,566,089	33,992,000	34,420,000	
	(うち利用料金)	3,389,350	4,167,650	4,706,800	
	(うちその他)	183,040	136,500	97,630	キャンセル料
	支出金額(円)	39,163,454	36,992,120	38,487,915	

1 自己評価

自己評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の利用しやすい施設、求められる施設機能など、あらゆる機会を通じて意見を取り入れながら、管理運営を行うように努めている。その結果、80%以上の方から満足度を得ている。今後も、市民の意見を反映した事業の拡大に努めていく。 ・会館予約や受付済データのアプリを作り貸館の対応をする者が確認しやすくした。
----------	---

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	利用者アンケートの実施や意見箱の設置により、利用者の意見を把握し、会館運営への反映に努めている。利用者からは好意的な意見が多く、良好に運営されている。また、貸出用Wi-Fiを整備するなど、利用者サービス向上に努めている。
利用状況に対する評価	A	前年度より利用者数は若干減少したが、より利用しやすい施設を目指し、市民の意見を取り入れることに努めており、利用者数はコロナ禍前の水準に戻っている。
自主(指定)事業に対する評価	A	指定管理者のノウハウを活かし、福祉に関する相談への幅広い対応、各種講座の案内や情報の収集・提供を積極的に行い、施設利用者の増加や市民の福祉意識の高揚に努めている。
施設維持に対する評価	A	定期的な点検や清掃・植栽、警備、管理運転業務等の実施により、適切な維持管理が行われている。また、施設に不具合があれば、逐一所管課へ情報共有され、迅速に対処することができている。
収支状況に対する評価	A	利用者数水準の上昇に伴い利用料金収入水準も上昇している。また、照明や空調の適正な管理により経費削減に取り組んでいる。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

項目	評価	評価内容
年度総合評価	AA	施設の管理運営については、基本協定書、仕様書、年度協定書に基づき適正に実施されている。また、指定管理者の持つ専門性やネットワークを活かし、サービスの向上や利用者の増加に取り組んでおり、指定管理業務はおおむね良好である。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	加古川市立つつじ園				
指定管理者	社会福祉法人博由社				
指定期間	令和5年4月1日から令和10年3月31日まで				
施設所管課	福祉部 障がい者支援課				
施設の設置目的	障害者の福祉の増進を図るために、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第5条第1項に規定する障害福祉サービスを行う障害者の通所施設を設置する。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	9,216	8,514	8,608	・稼働日数 251日(+8日) (R5年度 243日)
	1日平均(人)	37.0	35.0	34.3	・稼働率 68.6%へ減少 (R5年度 70.1%)
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	201,158,188	192,757,579	209,521,990	
	(うち指定管理料)	49,455,603	53,281,164	53,295,000	
	(うち利用料金)	140,345,327	131,799,614	144,905,784	報酬改定による
	(うちその他)	11,357,258	7,676,801	11,321,206	法人内繰入収入
	支出金額(円)	202,899,036	190,236,681	199,098,564	法人内繰入支出

1 自己評価

自己評価コメント	<p>利用率は68.6%と前年度70.1%に比べ1.5%の減となった。これは、前年度末に4名の退所者が出たことが大きく影響した。今年度、3名の新規利用者を獲得し、利用数増に取り組むことで大幅な利用率低下を防いだ。</p> <p>今年度、利用率減であったが増収した要因として、以前より取組んでいた支援困難者の受入れが今回の報酬改定で評価されたといえる。前年度から引続き、地域交流の一環としてスポーツ教室を実施した。つつじ園利用者と地域の障がいがある方たちが地元ボランティア指導のもと、サッカー交流を図った。8月には地元東神吉町の盆踊りに出店し、地域貢献を図るとともにつつじ園周知に取り組んだ。3月より利用者の農園作業充実を図るため、地元のボランティアを受け入れ、農作業を通じて地域との交流を図った。</p>
----------	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	昨年に引き続き、重度・強度行動障がいをもつ利用者に対して、強度行動障害支援者養成研修修了者を配置することで、より専門性の高い支援の提供に努めている。
利用状況に対する評価	B	利用者の退所により稼働率が減少しているため、引き続き新規利用者の獲得に向け、取り組んでもらいたい。 利用率 R6：68.6%、R5：70.1%、R4：74.0%
自主(指定)事業に対する評価	A	日中一時支援事業の稼働率については80%を上回っており、今後も地域のニーズに応えるべく体制を継続してもらいたい。 利用率 R6：80.2%、R5：84.4%、R4：76.7%
施設維持に対する評価	A	利用者が快適に利用できるよう、修繕内容について検討したうえで実施するなど、適切な維持管理ができています。
収支状況に対する評価	A	経費の削減に努めており、指定管理料の範囲内で支出がまかなえている。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度総合評価	A	職員体制を確保しながら、利用者への適切なサービスの提供に努めており、利用満足度も高い水準を維持している。今後、地域交流を深めるべく、行事や外出等の継続的な取り組みなどにより、利用満足度の向上に期待したい。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	東はりま夜間休日応急診療センター				
指定管理者	公益財団法人東播臨海救急医療協会				
指定期間	令和3年11月1日から8年3月31日まで				
施設所管課	健康医療部 地域医療課				
施設の設置目的	夜間及び休日において救急の医療を必要とする者に対し、応急の医療を行うため設置する。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	受診者数(人)	14,000	17,164	15,191	年末年始にインフルエンザが大流行したものの、全体的には感染症の流行もなく、患者数減少。
	後送者数(人)	469	614	520	
収支の状況	財源区分	指定管理料のみ			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	155,269,877	157,563,549	151,578,152	
	(うち指定管理料)	155,269,877	157,563,549	151,578,152	
	(うち利用料金)				
	(うちその他)				
	支出金額(円)	155,269,877	157,563,549	151,578,152	

1 自己評価

自己評価コメント	東はりま夜間休日応急診療センターの診療業務において、利用者サービスの質の低下を招くことなく管理運営業務を適正に実施。
----------	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	施設の管理運営については、基本協定書、仕様書、年度協定書及び事業計画書に基づき適正に実施している。また、医師不足が問題となる中、安定した診療体制を維持するために医師の確保に努め、利用者からの意見や要望にも誠実に対応している。
利用状況に対する評価	A	受診者数や後送者数ともに増加するなか、仕様書に記載のとおり、内科・小児科とも年中無休で診療を実施できている。
自主(指定)事業に対する評価	—	実施する事業なし
施設維持に対する評価	A	必要な定期点検を実施するとともに、適切なタイミングで簡易修繕を実施するなど施設の維持に努めている。
収支状況に対する評価	A	不必要な物品の購入を控え、適切な在庫管理を行っている。また、物品購入の際は見積合わせを実施し、経費節減に努めている。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

項目	評価	評価内容
年度総合評価	AA	夜間帯及び休日において救急医療を必要とする者に対し、年中無休で初期診療を実施する安定した体制が確保できている。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名		加古川市立別府公民館			
指定管理者		別府公民館管理運営委員会			
指定期間		令和6年4月1日から令和11年3月31日			
施設所管課		教育指導部 社会教育課			
施設の設置目的		社会教育法第20条の規定に基づき、地域の住民のため、实际生活に即する教育及び学術、文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上及び健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。			
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	44,487	48,160	52,596	選挙の期日前投票2回
収支の状況	財源区分	指定管理料のみ			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	30,484,493	31,479,501	36,133,195	人件費増
	(うち指定管理料)	24,822,000	25,591,000	29,673,000	
	(うち利用料金)	0	0	0	
	(うちその他)	5,662,493	5,888,501	6,460,195	
支出金額(円)	24,853,987	25,274,929	29,387,653	人件費・光熱費増	

1 自己評価

自己評価コメント	<p>様々な地域行事や地域ニーズに対し、当地域における各世代の交流拠点施設としての役割を積極的に果たしていると考えている。</p> <p>今後も利用者や評議員の声を活かし、地域のニーズを積極的に取り入れた運営を行うとともに、さらに地域のコミュニティのリーダーの育成や子どもから高齢者まで幅広い世代が気軽に楽しく利用できる公民館運営を推進していきたい。</p>
----------	---

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	施設の管理運営業務においては、評議員会やアンケート等により利用者のニーズに応じた管理運営が概ね良好に行われている。
利用状況に対する評価	A	利用者数や稼働率は、期日前投票のため前年度より増加している。
自主(指定)事業に対する評価	A	障がい者の生涯学習講座やお米づくり体験など、特色のある取り組みが実施されており、高く評価できる。また、評議員会において協議が行われ、多様な講座が実施されている。
施設維持に対する評価	A	施設の状態を適宜把握し、必要な修繕を実施している。
収支状況に対する評価	A	予算の範囲内で適正に執行している。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多数ある

項目	評価	評価内容
年度総合評価	AA	地域住民の多様なニーズに応え、さらに幅広い利用促進を図ることで、良好かつ効率的な管理運営業務の実施を期待している。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名		加古川市立尾上公民館			
指定管理者		尾上公民館運営管理委員会			
指定期間		令和6年4月1日から令和11年3月31日			
施設所管課		教育指導部 社会教育課			
施設の設置目的		社会教育法第20条の規定に基づき、地域の住民のため、实际生活に即する教育及び学術、文化に関する各種の事業を行い、住民の教養の向上及び健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。			
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	利用者数(人)	58,149	58,069	62,363	登録団体の数が2団体減少したが一般の受付が増えたため、若干増加した。
収支の状況	財源区分	指定管理料のみ			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	33,448,087	33,974,899	36,142,572	
	(うち指定管理料)	24,718,000	26,232,000	28,528,000	
	(うち利用料金)	0	0	0	
	(うちその他)	8,730,087	7,742,899	7,614,572	繰越金、印刷代等雑入
	支出金額(円)	25,756,376	26,427,496	28,015,335	

1 自己評価

自己評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の公民館として住民との信頼関係を築き、多様な自主事業を実施し、地域の生涯学習施設としての役割を果たせた。 ・節電、節水など必要経費削減の努力をして安定的な会計運営ができた。 ・ホームページやSNSでの発信を継続的に行うことで、幅広い世代へ情報発信や募集を行った。
----------	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	施設の管理運営事業においては、運営推進委員会やアンケート等により利用者のニーズに応じた管理運営が概ね良好に行われている。
利用状況に対する評価	A	利用者数や稼働率は、前年度と比較し7%程度増加している。
自主(指定)事業に対する評価	A	地域住民のニーズを踏まえた多様な生涯学習講座や地域の人材を活用した講座が実施されており、高く評価できる。また、平和学習に関する取組み等、貴重な学びの機会を提供されている点も評価できる。
施設維持に対する評価	A	施設の状態を適宜把握し、必要な修繕を実施している。
収支状況に対する評価	A	予算の範囲内で適正に執行している。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度総合評価	AA	地域住民の多様なニーズに応え、さらに幅広い利用促進を図ることで、良好かつ効率的な管理運営業務が実施されている。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている

指定管理業務の評価結果について

(評価対象年度：令和6年度)

施設名	加古川市立加古川図書館				
指定管理者	株式会社図書館流通センター				
指定期間	令和3年10月1日から令和8年3月31日まで				
施設所管課	教育指導部 中央図書館				
施設の設置目的	図書館法(昭和25年法律第118号)第10条の規定に基づき図書館を設置する。				
利用状況	指標	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	貸出者数(人)	139,628人	142,259人	142,964人	入館者増にともない微増した。
	貸出冊数(冊)	417,302冊	416,431冊	406,781冊	各種の取組により貸出者数は微増したが、1人当たりの貸出冊数が伸び悩んだ。
	入館者数(人)	474,937人	500,859人	508,741人	学習室、Wi-Fiの利用が好調であることから滞在型の利用者が増えていると思われる。
収支の状況	財源区分	指定管理料+利用料金収入			
	科目	前々年度	前年度	当年度	備考(増減理由等)
	収入金額(円)	89,286,404	88,864,092	88,429,543	
	(うち指定管理料)	89,002,180	88,539,530	88,096,289	還付金あり
	(うち利用料金)	284,224	324,562	333,254	
	(うちその他)	-	-	-	
	支出金額(円)	90,643,282	89,030,897	90,435,849	

1 自己評価

自己評価コメント	<p>昨年度同様に年間の来館者数が50万人を超え、累計約170万人となった。立地、設備面などにおいて利用しやすい環境であり、開催事業についても概ね好評を得て、計画通りに実施することができた。昨年目標値に達しなかった事業は広報かがわに掲載するなど注力したが目標値には及ばなかった。ただ、少しずつ改善の傾向にあるため引き続き注力したい。</p>
----------	--

2 施設所管課評価

項目	評価	評価内容
運営(サービス)に対する評価	A	利用者アンケートにおいて、接遇満足度は微減したが、前年度同様に指定事業、自主事業や学習スペースの提供・管理などさまざまなことに取り組んでおり、それらが来館者増や利用者増に表れていると思われる。また、来館者からの苦情等への対処も問題はない。
利用状況に対する評価	A	・来館者数や貸出の人数は前年度より増え、貸出冊数や学習スペースの利用数についてもほぼ前年度並みを維持している。 ・中高生の貸出利用は前年度より微減したが、市内の図書館の中では相対的に利用率が高い。
自主(指定)事業に対する評価	A	指定事業・自主事業については事業計画書に沿って、予定どおり実施されている。事業実施においては各所と連携も多く、常に工夫を凝らし、熱心に取り組んでいる成果が、多くの事業で参加者が予定数を上回っている点に表れている。
施設維持に対する評価	A	清掃、備品購入、修繕、AEDの点検など日常管理について、計画的に行われている。光熱水費については前年度よりも出費が減額しており、省エネについても使用量の削減に取り組んでいることが認められる。
収支状況に対する評価	A	収支の状況については指定管理料の範囲で適切に執行・処理されている。 余剰金の多くが光熱水費であり、備品や図書購入費については計画的に執行されている。

※評価基準

S	計画書、仕様書等を上回る優れたサービスが提供されている
A	計画書、仕様書等に沿った適切なサービスが提供されている
B	概ね計画書、仕様書等に沿ったサービスが提供されているが、一部に課題がある
C	計画書、仕様書等に沿ったサービスについて改善すべき点が多い

項目	評価	評価内容
年度総合評価	AA	施設の管理運営については、基本協定書、仕様書、年度協定書及び事業計画書に基づき適正に実施されている。また、常に各種事業について積極的に実施しており、学習スペースの提供についても成果が認められる。駅前立地の点から他市町からの利用も多く、地域の情報拠点として機能しており、指定管理業務は良好といえる。

※評価基準

S	評価項目全てがA以上かつ、半分以上がSである
AA	評価項目全てがA以上である
A	評価項目にA以上が半数以上含まれている
B	評価項目にB以上が半数以上含まれている
C	評価項目にCが含まれている